

デジタル文化財情報の教育現場における活用について

～東京藝術大学大学院文化財保存学彫刻研究室の場合～

教授 藪内 佐斗司

東京藝術大学大学院美術研究科
文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室

文化財保存学

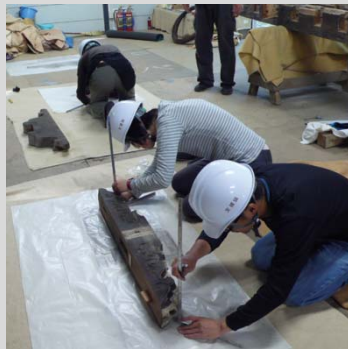
保存修復



日本画



油画



建造物



彫刻



工芸

保存科学



システム保存学



修士課程2年
(博士前期課程に算入)

博士後期課程3年

保存修復彫刻研究室の教育活動および文化財修復活動について

教育研究

古典彫刻の構造・材質・技法の研究
彫刻文化財の保存修復技術の習得
彫刻文化財の模造（現状模刻・復元模刻）

彫刻文化財の保存と 修復に関する研究

文科省科学研究助成事業
各種財団等の助成事業
学外からの受託研究

社会への発信

研究報告発表展の開催
研究報告書「年報」などの刊行
講演会、展覧会、社会活動等

特色）レーザー計測を主体とした彫刻文化財の3Dデジタルデータの集積と教育研究への活用

古典彫刻の構造・材質・技法の研究



彫刻文化財の保存修復技術の習得



彫刻文化財の模造（現状模刻・復元模刻）



平成23年度 修了制作
博士制作

東京国立博物館蔵 木造菩薩立像（列品番号C-20） 模刻
東京藝術大学蔵 肥後別当定慶作木造毘沙門天立像 模刻
高野山金剛峰寺不動堂八大童子のうち矜羯羅童子立像 想定復元模刻

彫刻文化財の保存と修復に関する研究

文科省科学研究助成事業

○科学研究費補助金（基盤研究B）

「平等院及び浄瑠璃寺阿弥陀如来像を中心に3Dデジタルデータによる定朝様式の比較研究」

研究代表者 簀内佐斗司（2005～2007年）

○科学研究費補助金（萌芽研究）

「教育現場における立体形状模倣による空間認識の研究～学ぶはまねる～」

研究代表者 簀内佐斗司（2008～2010年）

○科学研究費補助金（基盤研究B）

「3Dデジタルデータをもとにした快慶的特徴基準の作成 ―快慶とその周辺への形状伝播―」

研究代表者 簀内佐斗司（2009～2011年度）

○科学研究費補助金（基盤研究C）

「幕末・明治期・昭和初期における彫刻道具の調査及び復元考察」

研究代表者 三浦康道（2010）

○科学研究費補助金（若手研究B）

「彫刻文化財の修理における三次元デジタルデータの実践的な利活用とその効果の研究」

研究代表者 山田修（2010～2012）

彫刻文化財の保存と修復に関する研究

各種財団等の助成事業

○財団法人文化財保護・芸術研究助成財団助成事業

「平等院および浄瑠璃寺阿弥陀像を中心に3Dデジタルデータによる定朝様式の比較研究」

○財団法人文化財保護・芸術研究助成財団助成事業

「鎌倉時代阿弥陀立像の木寄せ構造の確立と基準サンプルの作成と応用

－小西大閑堂阿弥陀如来および小山寺如来立像修復に基づく検証－」

○財団法人文化財保護・芸術研究助成財団助成事業

「鎌倉時代青蓮寺木造愛染明王坐像と五島美術館愛染明王坐像の比較研究」

○財団法人住友財団文化財維持・修復事業助成

「浄瑠璃寺大日如来坐像保存修復事業」

○財団法人住友財団文化財維持・修復事業助成

「大慈仙町木造薬師如来坐像修復事業」

○財団法人住友財団文化財維持・修復事業助成

「茨城県木造虚空蔵菩薩坐像修復事業」

彫刻文化財の保存と修復に関する研究

学外からの受託研究・受託事業

平成23年度 受託研究・受託事業

- 茨城県 桜川市 木造虚空蔵菩薩坐像 修復研究
- 茨城県 小山寺蔵 木造毘沙門天立像 修復研究
- 東京都 個人蔵 木造阿弥陀如来立像 修復研究
- 静岡県 願成就院 木造毘沙門天立像縮尺模刻 制作研究
- 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館「崑崙」復元模刻事業
- 奈良県 室生寺蔵 木造地藏菩薩立像および木造不動明王立像、木造厨子 修復研究
- 東京藝術大学蔵 薬師寺三層裳階付大塔模型 修復研究
- 木造地藏菩薩立像 制作事業 等

研究報告発表展

2011年
4/20[水]▶24[日]
10:00▶17:00
観覧料は1600まで

銀座 おとな塾
SANKEI GAKUEN
〒100-0001 千代田区銀座1-1 ファサード裏面5階

東京藝術大学大学院 美術研究科
文化財保存学専攻 保存修復彫刻研究室

研究報告発表展

当研究室で昨年度手がけた、修復、模刻研究を中心に
それらの研究成果を展示発表致します。




修復 大感徳町蔵 江戸時代後期 木造 如来坐像

● 本尊は、大感徳町蔵に所蔵されている。本尊は、江戸時代後期の木造如来坐像で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。本尊は、江戸時代後期の木造如来坐像で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。本尊は、江戸時代後期の木造如来坐像で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。

模刻 個人蔵 木造 狛犬

● 本尊は、個人蔵に所蔵されている。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。

模刻 個人蔵 木造 狛犬

● 本尊は、個人蔵に所蔵されている。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。

模刻 個人蔵 木造 狛犬

● 本尊は、個人蔵に所蔵されている。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。

模刻 個人蔵 木造 狛犬

● 本尊は、個人蔵に所蔵されている。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。

模刻 個人蔵 木造 狛犬

● 本尊は、個人蔵に所蔵されている。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。本尊は、江戸時代後期の木造狛犬で、高124cm、幅64cm、奥行34cm。

本造地蔵菩薩半跏像
本館蔵、つくば市東区新大塚の
地蔵堂に、後世の再彫による増補が施さ
れて、この造像が現存（部分の再彫は
江戸時代）であることが判明した。この
造像は、江戸時代中期の地蔵菩薩の
造像の代表として、現在、地蔵菩薩の
造像の制作に活用されている。

本館蔵、つくば市東区新大塚の地蔵堂に、後世の再彫による増補が施されて、この造像が現存（部分の再彫は江戸時代）であることが判明した。この造像は、江戸時代中期の地蔵菩薩の造像の代表として、現在、地蔵菩薩の造像の制作に活用されている。

[illegible]

研究報告発表展



2011年4月20日（水）～2011年4月24日（日） 産経学園・銀座おとな塾

研究報告発表展



2011年4月20日（水）～2011年4月24日（日） 産経学園・銀座おとな塾

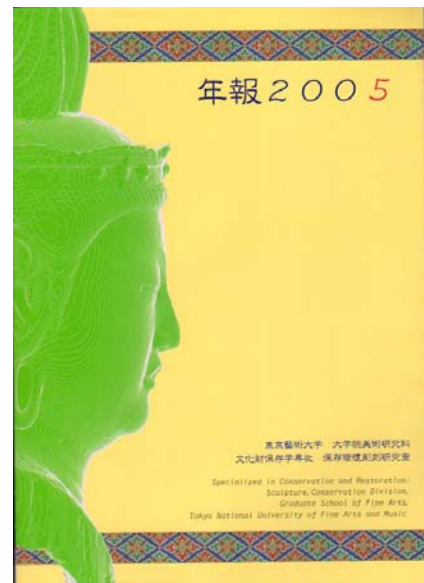
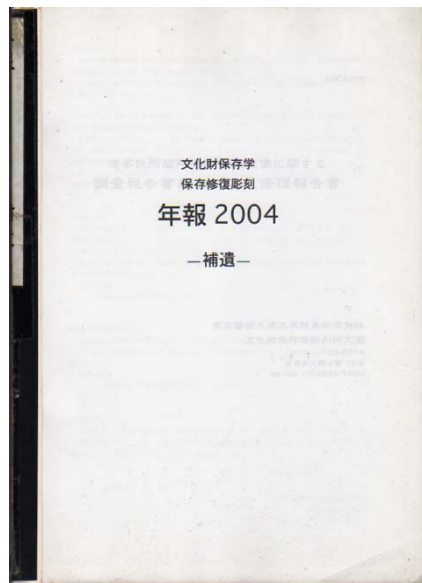
研究報告発表展



2011年4月20日（水）～2011年4月24日（日） 産経学園・銀座おとな塾

社会への発信

研究報告書「年報」などの刊行



社会への発信

講演会、展覧会、社会活動等

○2011年11月1日～12月27日
Eテレ(NHK教育)『和の極意』
全9回「彫刻家・簀内佐斗司流 仏像拝観手引」

○2011年11月3日～11月13日
『お仏壇のはせがわ賞5周年記念』展覧会 はせがわ銀座ギャラリー

○2011年10月26日
『藝大アーツ イン 東京丸の内』丸ビル1F マルキューブ
「日本の心のよりしろ」仏像修復と日本歌曲
対談：簀内佐斗司(美術研究科教授)×永井和子(音楽学部教授・声楽科)

○2011年10月19日
Eテレ(NHK教育)『大！天才てれびくん』

○2011年7月20日～9月25日
『台湾2011 三義国際木彫芸術交流展』台湾 三義木彫博物館

○2011年3月19日
BSジャパン開局10周年記念番組『遥かなる運慶の極彩空間 ～今甦る東大寺大仏殿 幻の巨大仏像～』

○2011年3月9日
NHK総合『歴史秘話ヒストリア』第69回放送
「彫った！祈った！戦った！～乱世のトップランナー 仏師・運慶～」

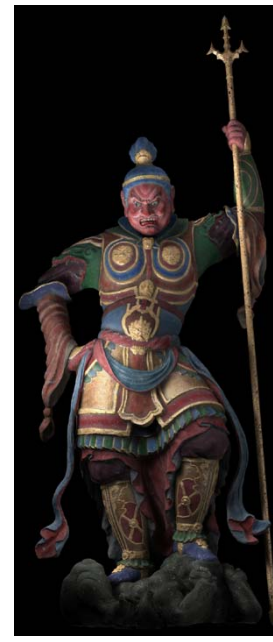


益田芳樹「興福寺 龍燈鬼立像 復元模刻」2005年

保坂紗智子「即成院 観音菩薩跪坐像 現状模刻」2010年

鈴木篤「六波羅蜜寺 広目天立像 現状模刻」2010年

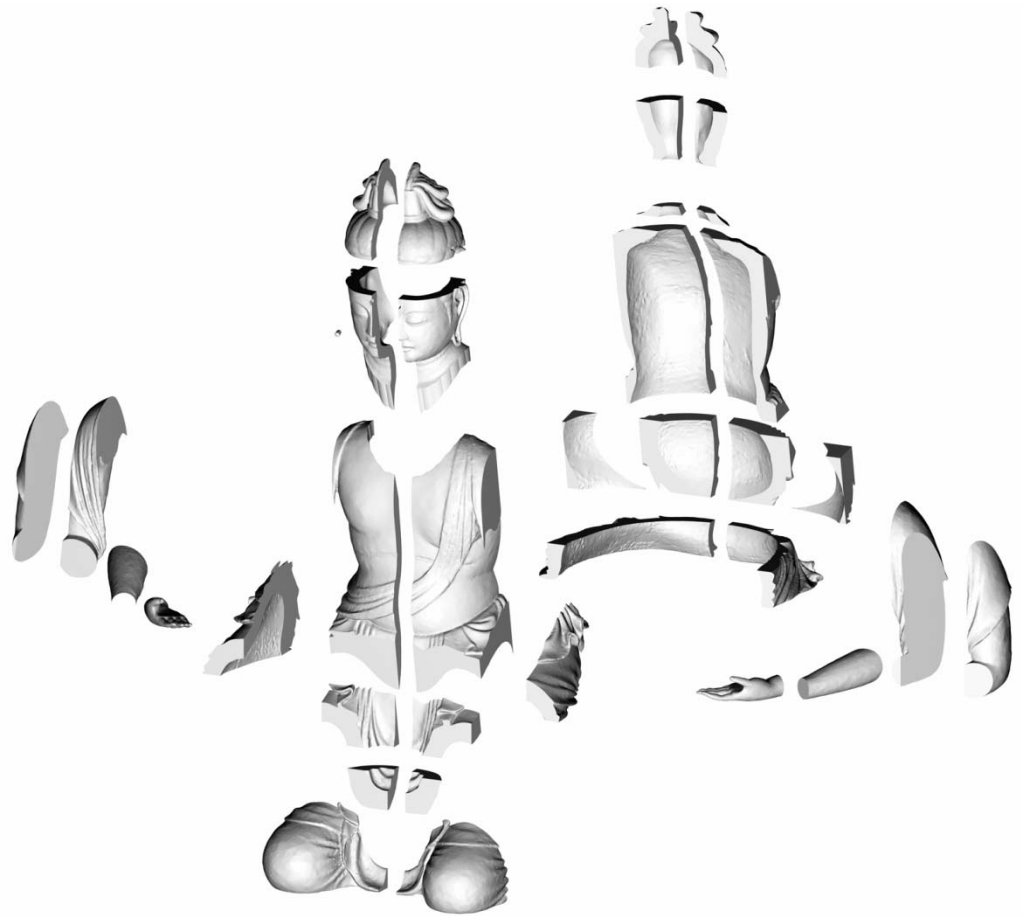
山田修「鎌倉期 東大寺大仏殿 増長天立像 復元研究」2011年



益田芳樹「興福寺 龍燈鬼立像 復元模刻」2005年



保坂紗智子「即成院 観音菩薩跪坐像 現状模刻」 2010年



保坂紗智子「即成院 観音菩薩跪坐像 現状模刻」 2010年



鈴木篤「六波羅蜜寺 広目天立像 現状模刻」2010年

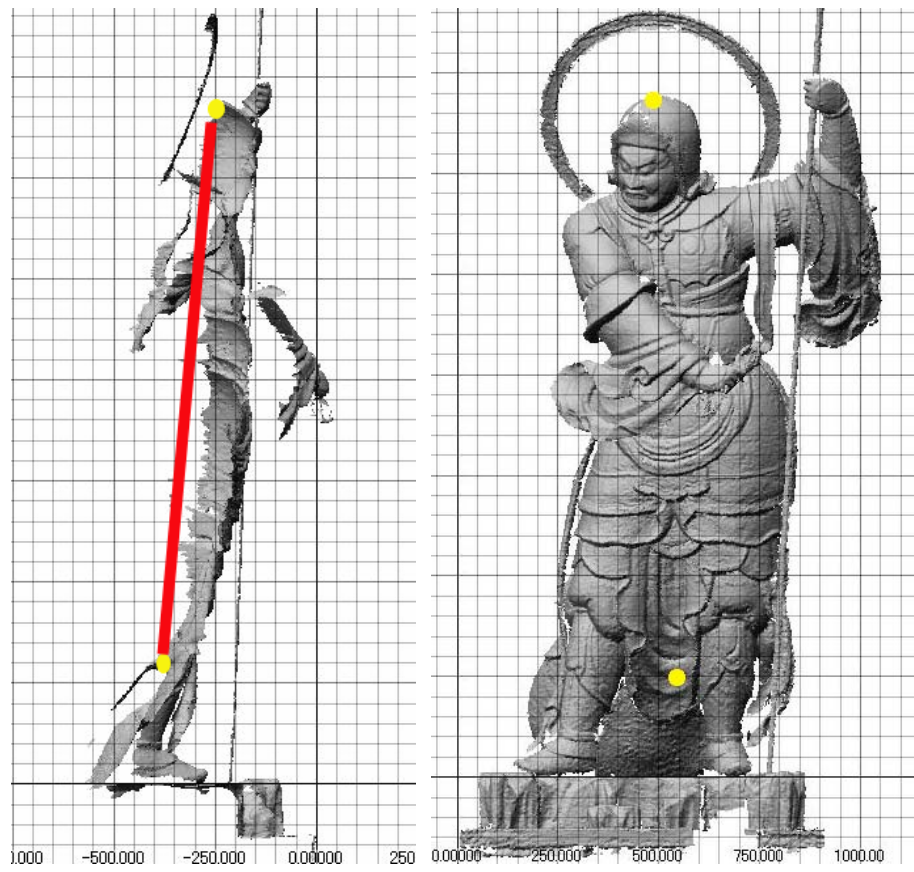


鈴木篤「六波羅蜜寺 広目天立像 現状模刻」2010年

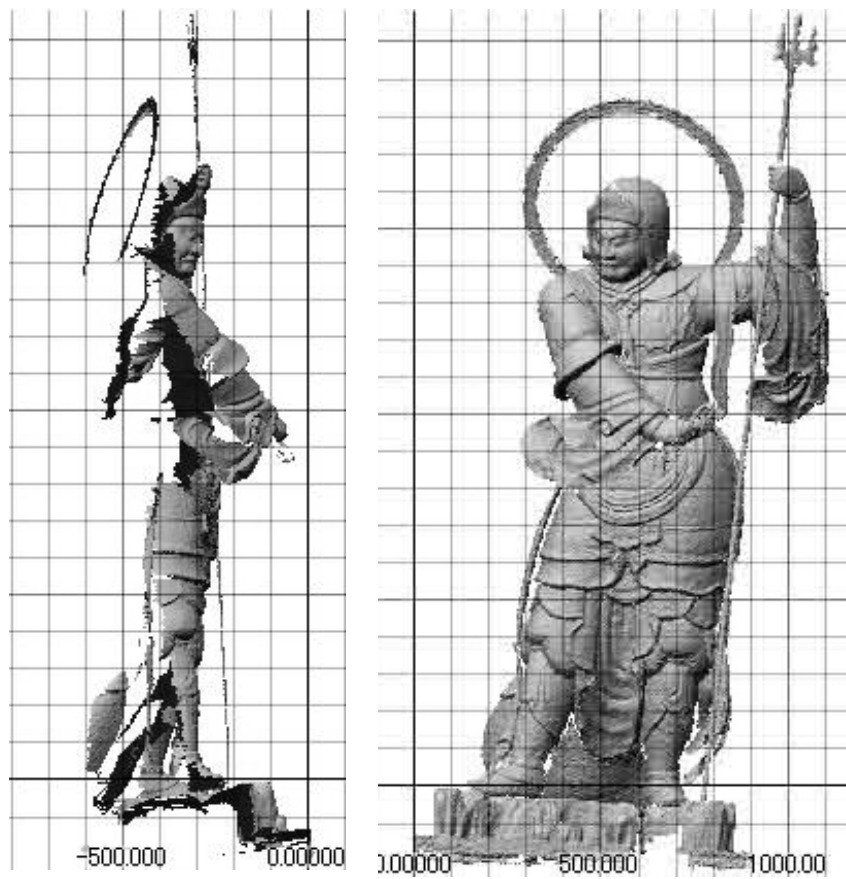


鈴木篤「六波羅蜜寺 広目天立像 現状模刻」2010年

木芯想定位置

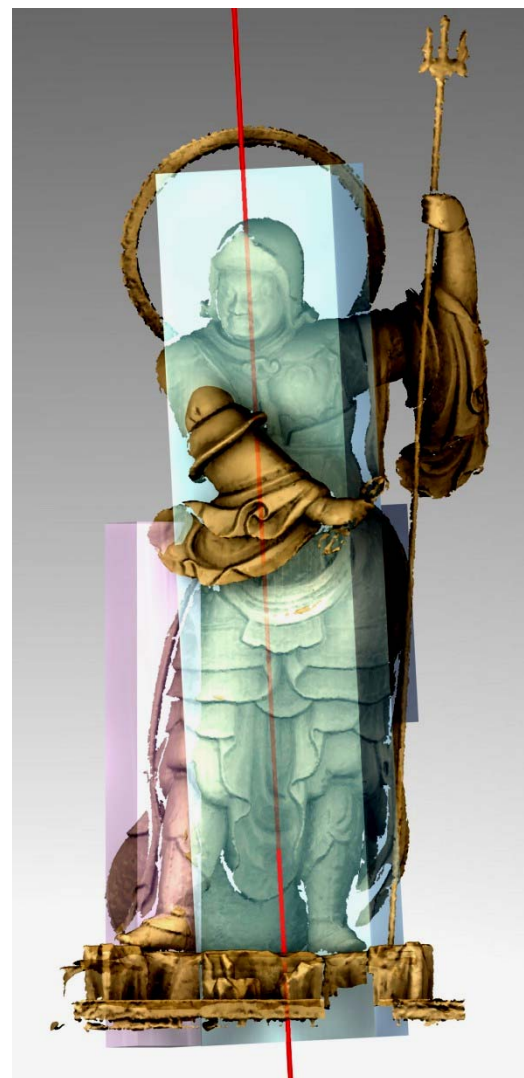
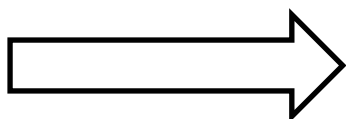
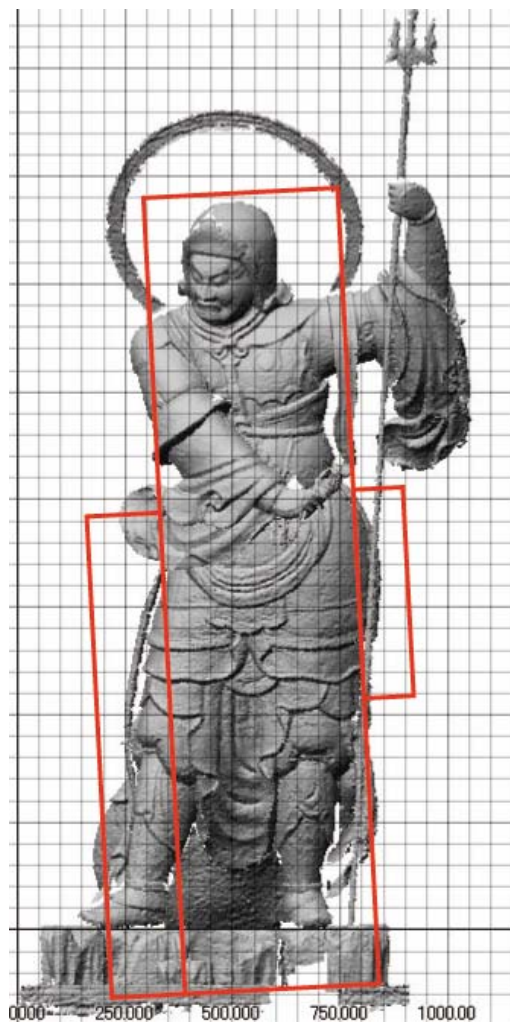


木芯に合わせた図面



鈴木篤「六波羅蜜寺 広目天立像 現状模刻」2010年

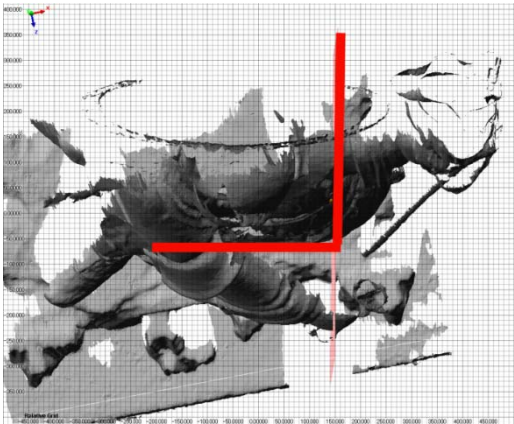
3Dデータによる木取り想定図



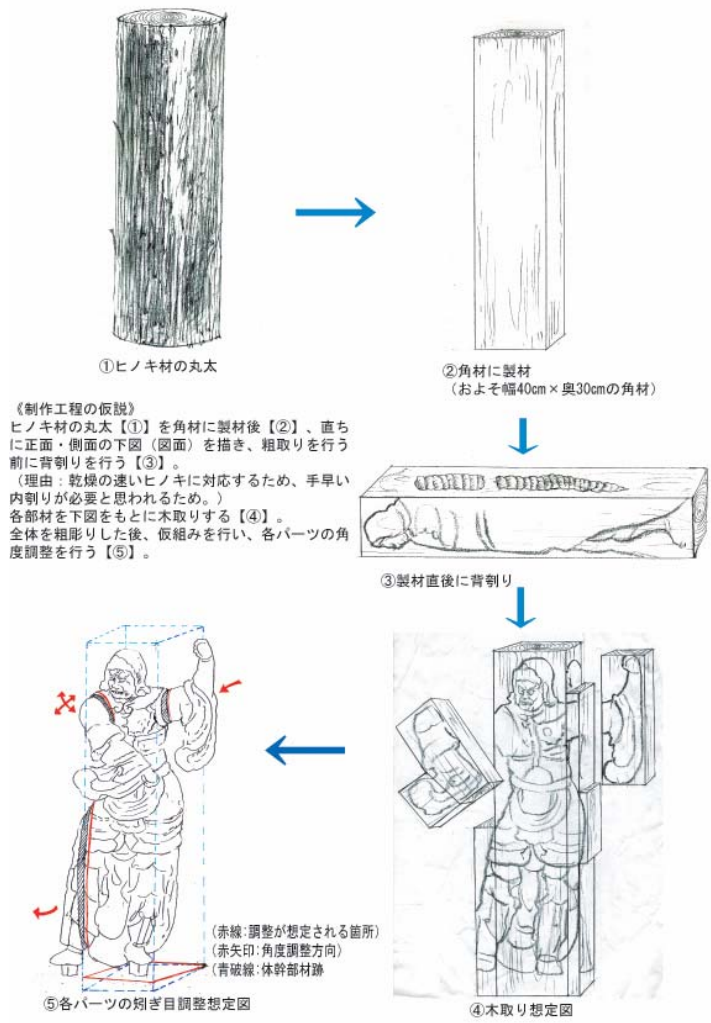
模刻像の木取り図
(赤線部：体幹部材および周辺材)

左から右脚材体幹部材/左側面材/左側面小材
を組み合わせた木取想定図 (赤線：木芯位置)

鈴木篤「六波羅蜜寺 広目天立像 現状模刻」2010年



製材跡と考える仮想平面位置



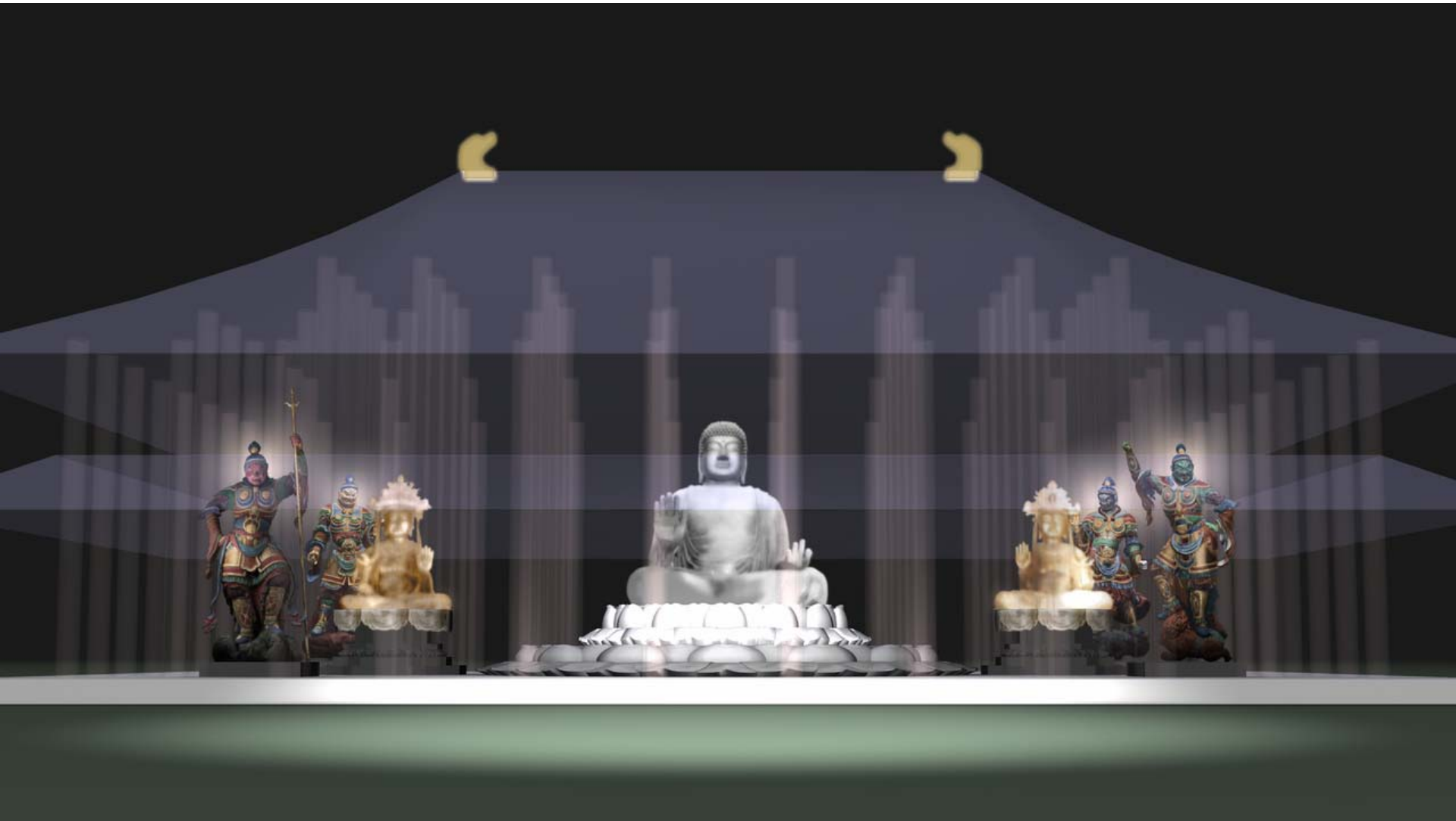
仮想仮組図

山田修「鎌倉期 東大寺大仏殿 増長天立像 復元研究」 2011年



山田修「鎌倉期 東大寺大仏殿 増長天立像 復元研究」 2011年





第60回 東京藝術大学「卒展」・大学院美術研究科修士課程「修了作品展」

場所: 東京藝術大学大学 美術学部 陳列館

期間: 1月29日(日)～2月3日(金) 会期中無休
9:00-17:00(入場は16:30まで)

観覧料: 無料



第60回
東京藝術大学
卒業・修了作品展
美術学部 大学院美術研究科修士課程

研究報告発表展

今年も研究報告発表展を開催いたします。当研究室では、昨年より、多くの修復、模刻研究に取り組んでおります。それらの研究成果を展示発表いたします。

今年の会場は東京藝術大学大学美術部陳列館になります。

発表予定 平成23年度 受託研究・受託事業

美術部 展 出 作 本造像修復研究事業 模刻研究
美術部 山崎 本造像修復研究事業 模刻研究
美術部 山崎 本造像修復研究事業 模刻研究
美術部 山崎 本造像修復研究事業 模刻研究

平成23年度修士課程・博士後期課程修了研究

東京国立博物館蔵 本造像修復研究 平成23年度 平成23年度
東京国立博物館蔵 本造像修復研究 平成23年度 平成23年度
東京国立博物館蔵 本造像修復研究 平成23年度 平成23年度



東京藝術大学大学美術部 陳列館

文化財保存学専攻
保存修復彫刻研究室

110-0174 東京芸術大学美術部 陳列館1-8
tel fax 050-5525-2279
www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin
http://www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin



東京藝術大学大学美術部 陳列館

文化財保存学専攻
保存修復彫刻研究室

110-0174 東京芸術大学美術部 陳列館1-8
tel fax 050-5525-2279
www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin
http://www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin



KOJIMA Kunikida
小島久典

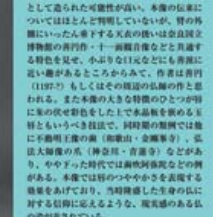
Reproduction of Standing Bosatsu in Tokyo National Museum

東京国立博物館蔵
木造菩薩立像
(列品番号C-20)模刻



本研究は、鎌倉時代の作である東京国立博物館蔵・木造菩薩立像（列品番号C-20）を模刻することにより、同時代の造像技法を学ぶきっかけとなる。また、その模刻手法について理解を深めることを目的とする。

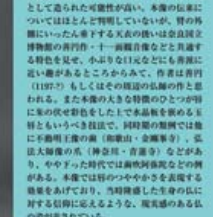
本研究は、鎌倉時代の作である東京国立博物館蔵・木造菩薩立像（列品番号C-20）を模刻することにより、同時代の造像技法を学ぶきっかけとなる。また、その模刻手法について理解を深めることを目的とする。



東京藝術大学大学美術部 陳列館

文化財保存学専攻
保存修復彫刻研究室

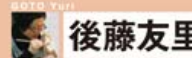
110-0174 東京芸術大学美術部 陳列館1-8
tel fax 050-5525-2279
www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin
http://www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin



東京藝術大学大学美術部 陳列館

文化財保存学専攻
保存修復彫刻研究室

110-0174 東京芸術大学美術部 陳列館1-8
tel fax 050-5525-2279
www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin
http://www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin



GOTO Yuri
後藤友里

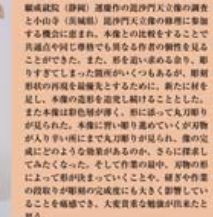
Reproduction of standing Hoshonoten by Higashinetsu Josukei (Tokyo University of the Arts)

東京藝術大学蔵 肥後別当定慶作
木造毘沙門天立像模刻



本研究は、鎌倉時代の作である東京国立博物館蔵・木造菩薩立像（列品番号C-20）を模刻することにより、同時代の造像技法を学ぶきっかけとなる。また、その模刻手法について理解を深めることを目的とする。

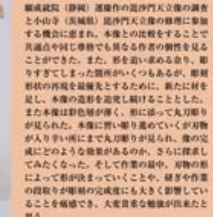
本研究は、鎌倉時代の作である東京国立博物館蔵・木造菩薩立像（列品番号C-20）を模刻することにより、同時代の造像技法を学ぶきっかけとなる。また、その模刻手法について理解を深めることを目的とする。



東京藝術大学大学美術部 陳列館

文化財保存学専攻
保存修復彫刻研究室

110-0174 東京芸術大学美術部 陳列館1-8
tel fax 050-5525-2279
www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin
http://www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin



東京藝術大学大学美術部 陳列館

文化財保存学専攻
保存修復彫刻研究室

110-0174 東京芸術大学美術部 陳列館1-8
tel fax 050-5525-2279
www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin
http://www.tokai.ac.jp/museum-chugakuin